

地域産業支援委員会H29年度第1回例会議事録

2017.6.11 発行 地域産業支援委員会 委員長 末松正典

1. 日時：2017/6/3（土）14:00～17:00

★次回は 2017/9/2（土）14時から開催予定です。

2. 場所：九州本部 会議室

3. 出欠（敬称略）：■赤石、□味澤、□大里、□小出、■古賀、□末松、□田口、□長野
 【□出席者、■欠席者】 □西尾、□久富、□松尾、□松永、■松原、■八百屋 ■山田、□吉田
 <11名> <5名>（欠席委員からは決議一任を頂いています）

4. 議題

1) 14:00-16:30；各グループからの議題に関する報告・質疑応答・今後の活動内容の確認

(1) 新委員のご紹介（長野委員、松尾委員）

(2) H29年度活動計画と、第1四半期の活動報告：

(3) 会則のレビュー

(4) 技術士会員活動支援体制の考察に関する意見交換

[資料②-1～②-4に関する内容について、1時間ほどを予定しています]

(5) その他

2) 16:30-17:00；業務経験紹介

(21) 松原委員が欠席のため、末松委員からH28年度に受けた委託内容を紹介。

(22) 次回の技術指導例紹介の発表者の選定

5. 配布資料類

資料①-1：H29年度活動計画及び経過表

資料①-2：地域産業支援委員会会則（2014年度に制定）

資料①-3：地域産業支援委員会H29年度活動計画（九州本部提出分）

資料①-4：「技術士だより・九州」投稿内容（当会のH28年度活動報告）

資料②-1：技術士会会員活動支援体制に関する一考察

資料②-2：（公社）日本技術士会の地域支援活動とテスペック（TESPEC）概要

資料②-3：会員活動グループ登録規則

資料②-4：会員活動グループ登録手引き

資料②-5：技術相談HP改訂（アドバイザー追加）

資料③-1：九州知財交流会参加報告書（第11回）

資料③-2：九州知財交流会参加報告書（第12回）

資料③-3：知財総合支援窓口H28年度第2回関係機関連携会議参加報告

資料③-4：九州知財交流会参加報告書（第14回）

資料③-5：九州知財交流会参加報告書（第15回）

資料③-5(2)：第15回九州知財交流会議事録（170522 西尾）

資料④-1(1)：H29年度九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー開催案内

資料④-1(2)：同上 企画提案書（技術士会九州本部としての出展通知）

資料⑤-1：機械部会 Web 中継報告

6. 議題に対する結果（決定事項など）：

6. 1 新委員の自己紹介：

・2名の新委員に自己紹介いただいた。（長野委員、松尾委員）

6. 2 各グループのH29年度1四半期の活動報告：

・資料①-1：5グループ全体の活動のまとめにより全体の活動を説明。

1) 第1グループ【文責：吉田、末松】

○資料①-3：H29年度計画：

- ・産総研オープンデー出展の日程を変更（12月⇒10/11～13）。
- ・知財交流会開催部署名変更（特許室⇒知的財産室） ・各機関への訪問組織追加（九工大、長崎大）

○資料①-4：技術相談案件の追加情報「M社の2次試験挑戦者にM社内の技術士を紹介」（吉田委員）

2) 第2グループ【文責：味澤、小出】

○資料②-1：技術士会会員活動支援体制に関する一考察 [味澤委員報告]

- ・「会員による活動グループ登録制度」の紹介。「登録グループ」とは、「技術士会としてその活動が承認されたグループ（組織）」である。

(*) 詳細は「資料②-3：会員活動グループ登録規則、資料②-4：会員活動グループ登録手引き」参照

- ・現時点で、有志を集め「支援活動の場（主に業務委託）」を個別に組織する事は自由だが、「登録グループ」として組織活動する事は厳しい。NPO法人等による、技術士会とは無関係な活動しかない。

○資料②-2：(公社) 日本技術士会の地域支援活動とテスぺック (TESPEC) [小出委員報告、一部意見交換]

- ・九州地方自治体等での計画・設計・積算業務、施工管理業務、等々に関する技術士の地域支援活動を主目的とする「登録グループ」の設立趣旨・活動事例及び解散に至った経緯等の説明(詳細は当日資料)。

- ・従来から、会員要望聴取や総会席上等で、「技術士を名称だけでは無く【業務独占資格】にせよ」と声高が存在し、個人的には賛同したいが、技術士創設時からの各省庁間制約上の法制度であり、米国流に「技術士名称付与資格」に留まってる現状である。

- ・ただし、公共事業における建設業関連では、法律の改正では無く、運用上の一部読替えにより、技術士資格が有用されている。ただ、産業界の大部分では技術士に関係なく事業が成り立つ現状でもある。

- ・その後、技術士会を中心に活用促進を図るための強い努力がなされた時期や成功事例も多いが、会と中央官界幹部の制度変遷等による熱意の変化は否めない。要は相手先情報を詳しく知り、「技術士の文言挿入」の折衝等を行い各部門毎の活用促進を徐々に進めるなど、今後も継続して、各種団体・機関等との交流、或は個人交流を通じて情報収集に努め、「技術士活用促進」の機会を探る事が重要だと考える。(ニッチを探せ、を自覚すべきでもある)

○ [追記]：リーフレット(公益社団法人日本技術士会九州本部～技術相談のご案内～)の関係先への配布・PR活動を促進して欲しい。その中で、内容の追記・修正等を次回次々回でまとめ、改訂版としたい。(リーフレット試作品は事務局に保管されている)

○資料②-5：(※) うっかりして紹介説明を失念。

新アドバイザー登録者は、#9(真鍋氏)、#16(末藤氏)、#21(姫野氏)の3名です。

3) 第3グループ【文責：味澤、末松、西尾】

○資料③-1、③-2、③-4、③-5(知財交流会第11、12、14、15回参加報告)

- ・九州経済産業局知的財産室及びINPIITが主催して行われ、士業(技術士、弁理士、弁護士、公認会計士、中小企業診断士)と行政機関などが参加する。

- ・資料③-1：企業の知財関係者が参加した交流会は大企業の参加のせいか、中小企業への支援を主体に考えている局の活動として、どのように展開していくのかははっきりしない面がある。

- ・資料③-2：特許審査官とのインターネットを介しての面接サービスは、企業にとっては、交通費及び時間の削減につながり、利用価値は大きいと思われる。中小企業に紹介するとよい仕組み。

- ・資料③-4：INPIITなどが作成した“知財検索マニュアル”は分かりにくいと感じている中小企業などには、福岡県知財総合支援窓口が毎年作成する「知財の森の歩き方」(近々改版予定との情報)を紹介すると良い。九州本部事務局に「特許・実用新案」「商標」「意匠」の3分冊が保管されているので、希望者はコピー可能である。

- ・資料③-5：営業秘密管理は、従来公証人制度が利用されるが、より安価な1つの方法として、“タイムスタンプ”(民間企業が行うサービス)があることを紹介すると良い(なお、INPIITはタイムスタンプの管理のみを無料で行うサービスを提供)。

- 資料③-3 (知財総合窓口連絡会)：約 25 機関が出席。士業は技術士、弁理士、弁護士、中小企業診断士。
 ・相談件数からみた H28 年度特徴には、出願に関することが減少。その代り文献調査と知財管理が上昇がある。企業側として、出願する、あるいは出願した特許の利用性・活用性を、より重視するようになってきたことがあるかもしれない。

4) 第4グループ【文責：松永】

- 「産総研九州・沖縄産業技術オープンデー」：資料④-1 で説明 (末松委員長説明)
 ・昨年と同様、今年も、上記オープンデーに出展し、ポスター掲示・相談会を行うことを本部長に了解いただいた。今年、会場を西日本総合展示場 (小倉駅北) とし、「エコテクノ 2017」と「中小企業テクノフェア in 九州 2017」と併催で、10/11 (水)～10/13 (金)に開催される (昨年より2ヶ月早い)。10/11、10/12 はポスター掲示と相談会のみ、10/13 はさらに講演会・合同成果発表会、交流会が予定されている。日本技術士会九州本部の出展は昨年とほぼ同様なスタイルとなりそう (A0 ポスター2枚、PC 説明)。時間は 10:00～16:00。3 日間の対応となり、昨年よりも長い。よって現地対応者は、本委員会メンバーを中心にご支援戴く。
 ・産総研への参加企画提案書の提出は、6/30 締切、ポスター現行の提出は 8/31 締切。

5) 第5グループ【文責：末松】

- 統括本部の機械部会主催の Web 中継受講を継続。
 ・3/10 (金) 参加者 4 名。
 1) 演題「機械技術者をいかに育成するか (技術者育成の重要な要因と技術者の成長プロセスについての研究成果を紹介)」 奥田孝之氏 (奥田技術士事務所)
 2) 「交通事故解析 (鑑定) についての一考察 (事故解析や報告を通し、第三者に対し誤解なく的確に伝える表現や意思疎通方法を考える)」 最上和生氏 (最上鑑定技術士事務所)
 ・5/12 (金) 参加者 6 名。
 演題：廃棄物焼却施設の過去・現在・未来について
 講演者：㈱タクマ東京技術企画部 課長太田智久氏 (PE: 衛生工学部門)

6. 3 会則のレビュー

- 資料①-2：地域産業支援委員会会則 (2015. 2. 21 制定) について：
 ・変更なく継続して運用することとした。

6. 4 技術士会員活動支援体制の考察に関する意見交換[資料②-1～②-4 に関する内容について]

- 上記 6. 2 の 2) 第 2 グループ【文責：味澤、小出】を参照。

6. 5 技術業務事例紹介：

- 末松委員から発表 (H28 年度行政機関からの依頼業務 2 例)
 ・「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」の書面審査
 ★依頼元：福岡県地域事務局 福岡県中小企業団体中央会・産業支援課
 ★依頼内容：申請書に対する書面審査 (評価表作成)。
 ★依頼回数：3 回 ①4～5 月 ②9 月 ③H29 年 2 月
 ・戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン) の中間評価時の面接審査
 ★依頼元：サポイン評価事務局 アルパック (株) 地域計画建築研究所 京都事務所
 ★依頼内容：中間時実施状況に対する面接審査評価
 ★依頼回数：1 回 (H29 年 2 月)
 ○次回：松尾稔委員から紹介いただくことにした。

以上